2022 年度日本表面真空学会 学会賞を受賞して

LASOR　教授　　松田　巌

おかげさまで、このたび 2022 年度日本表面真空学会学会賞を授かりました。まずは受賞にあたり、松田巌研究室のメンバー、物性研スタッフ及び共同研究者の皆様に、本誌面をお借りして厚く御礼申し上げます。

本賞の表彰式は 2022 年 5 月 21 日(土)に東京大学武田ホールにて行われ、オンライン中継されました(図 1)。日本表面真空学会の学会賞は表面・真空科学の進歩に、または日本表面真空学会の発展に、特に顕著な貢献があった個人会員が授賞するものです。今回の私の受賞業績は「革新的 2 次元物質と X 線分光技術の開発による表面・真空科学への貢献」でした(図 2)。これまでのエピタキシャル超薄膜や原子層などの物質合成と、放射光や X 線自由電子レーザーなどを用いた先端実験技術の開発が、基礎科学から革新的な展開研究まで当該分野の発展に大きく貢献してきた、として高く評価されました。一方、学会運営面においても国際ジャーナル編集長や国際会議プログラム委員長、学会支部長などの貢献が広く認められたようです。

学会は自身の研究を発表すると共に様々な専門家とも交流する貴重な場です。同時に、上手に企画することでコミュニティ全体が活性化されて新たな研究展開や潮流を生み出すこともできます。皆さんも是非、学会へ積極的に参加して自身の研究を深めると共に、それぞれの分野を大いに盛り上げてください。

図 1　表彰式会場にて、日本表面真空学会重川会長との記念撮影

図 2　学会賞の表彰記念品(金盾)